

## MIRA オータムフェア 開催

2020年11月29日(日)楽寿園にて、MIRA オータムフェアが開催されました。これは、コロナ禍において「国際交流フェア」「新春交流パーティー」を行うことが困難なため、新たに屋外イベントとして考えられたものです。

厳重な新型コロナウイルス感染症対策のもと、ステージ発表7組と飲食物販15ブースの参加があり、ちょうど菊まつりも開催されていたため多くの人々に楽しんでもらうことができました。来場者も、マナーを守りながら、思い思いに久々のイベント気分を満喫していました。

コロナ対策  
ばっちりです!



フォルクローレ



ハワイアン演奏とフラ



インド舞踊



中国武術・太極拳



ベリーダンス



ポールダンス



アイリッシュバンド



ごちそうもたくさん!



コロナに負けないよ!





# 第3回

## 友好都市親善 MIRA中国語スピーチコンテスト

於 市民活動センター 令和2年12月6日



12月6日、第3回友好都市親善中国語スピーチコンテストが市民活動センターで開催されました。今年はコロナ禍のもとでの開催となり、フェイスシールドをつけ、こまめに換気を行うなど、感染予防策をとったうえでの個別のスピーチコンテストとなりましたが、暗唱部門16名、スピーチ部門7名と多くの参加者が日ごろの成果を競いました。

暗唱部門は三須海聖さん(県立三島南高校)、スピーチ部門では木本陽三さん、麗水市長賞は鈴木美織さん(沼津東高校)が受賞しました。

### 暗唱部門 課題文：「孔融让梨」

- 1位 三須 海聖 (三島南高校3年)
- 2位 山田 翔平 (三島南高校3年)
- 3位 高山 桜羽 (三島南高校3年)
- 審査員奨励賞 中西夕侑 (三島南高校3年)

### スピーチ部門

- 1位 木本 陽三  
名前は時を超えたタイムカプセル！
- 2位 丸本 京佳 文化の融合
- 3位 柴田 寿子 ニイハオの思い出

### 麗水市長賞

鈴木 美織 (沼津東高校1年)

### 暗唱部門



三須 海聖さん

### 麗水市長賞



鈴木 美織さん

### スピーチ部門



木本 陽三さん

### 審査員コメント

各部門の優勝者のレベルの高さに感心しました。高校生からは、将来の希望が見えました。スピーチ部門では、中国語を習って半年程で参加した方の積極性と勇気を嬉しく思いました。全体的に、例年と比べ発音がとても良く、懸命に正しい発音をしようとする姿勢もよく伝わってきました。中国語の発音は難しいので、ゆっくりで良いので、はっきり正しい発音を目指してください。同学们、未来可期！

### 審査員



左から 張万英先生・盧思先生・李雙如先生

秋

期

語

学

講

座

### 中国語



チョウ マン エイ  
張 万英先生 (後列中央)

### スペイン語



アマサデハラ  
天座原ケイラ先生 (前列左)

### 韓国語



シン チャンヒョン  
申 昌鉉先生 (前列)

例年人気の夏期語学講座が、コロナ禍の影響で時期を変更し、人数もしぼって11・12月に全12回にわたり開催されました。ネイティブ講師による7時～8時半までの集中講座です。スペイン語・中国語・韓国語の3講座が開かれ、親しみやすく分かりやすい授業で定評のある講座では、語学を楽しみながら学ぶことができます。



## パサディナのブライアン竹田さんから、メッセージが届きました



Dear Friends:

Landing in a foreign airport for the first time. Driving on the wrong side of the street. Experiencing the sights and sounds of a foreign country for the first time. Meeting people who will become your friends for a lifetime as they warmly welcome you when you arrive at the train station. These are just a few of the wonderful life changing moments that we strive for in our international exchange programs.

Beginning in 2001 with an invitation from Mishima to attend the international Summer Camp at Kodomo no Kuni, three teenagers and two chaperones from Pasadena joined students from Japan, the United States, Canada and China for a week of fun activities and meeting new friends. It was a tremendous experience that would inspire a relationship between young people in Mishima and Pasadena that would last for many years to come. Following the end of the camp, I met with Mishima Mayor Koike and mentioned how wonderful it would be to host a youth group from Mishima for a summer program in Pasadena. With his immediate and enthusiastic support as well as the support of the City of Pasadena, we began the 2002 Pasadena - Mishima Friendship Youth Program. Eighteen years later, with the support of the City of Mishima, Mishima Mayor Toyooka and the City of Pasadena, we continue our youth exchanges as well as many warm visits by local citizens to Mishima and Pasadena.

For many, the coronavirus pandemic of 2020 was been the most challenging year of our lives. Many of us have lost loved ones to the virus. Schools and businesses have been closed and too many have lost their jobs. By comparison, our relationship with Mishima may seem to pale against the hardships that we are experiencing. But for me, my relationship with Mishima serves as a ray of hope for our future. I miss the warm welcomes and smiling faces of my friends in Mishima whenever I arrive and ride down the escalator at Mishima Station. And I look forward to the day when we can see each other again along with several young and enthusiastic students. With the introduction of coronavirus vaccines and a new way of ensuring the health and safety of our communities, we will be able to continue to make friends and strengthen our relationships.

Another result of the coronavirus pandemic is that it has motivated me to explore new ways of keeping in touch with one another through the use of technology. Although I greatly miss being with each other in person, by embracing online technology, it has become very easy to see and speak to each other at any time. And I hope we can continue our relationships and discuss and begin new ways to connect people.

As I look to 2021, I am hopeful that we will defeat the coronavirus and that we will continue our lives in a new and better way. The challenges of 2020 have made me more grateful for what we have and for what we can look forward to. Gambarimashou!

Sincerely, Bryan Takeda January 1, 2021

【要約】2001年富士山こどもの国でのインターナショナルサマーキャンプにパサディナから3人の学生と2人の随行者が、楽しい時間を過ごし、新しい友人に出会う1週間を過ごしました。キャンプが終わった後、三島市の学生を招いて、パサディナでのサマープログラムが開催できれば、と提案しました。小池前市長の迅速で熱心な支援に加え、パサディナ市の協力もあり、2002年パサディナ-三島フレンドシップ青少年事業を始動しました。18年が経過し、三島市の皆さん、豊岡市長、そしてパサディナ市の支援の元、この青少年交流事業に加え、両市の市民レベルでの心あたたまる訪問交流も続いています。

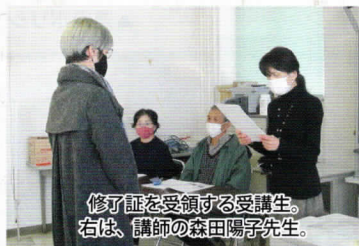
2020年は新型コロナウイルスの感染拡大で、人生の中で最も大変な年でした。このよう状況の中で、三島との関係が薄く

なっているように感じられるかもしれませんが、私にとって三島市との関係は未来への希望の光だと思っています。また、熱心な学生たちと一緒に三島を訪問し、皆さんにお会いできる日が来ることを楽しみにしています。テクノロジーを利用することで、今後も引き続き友好関係を継続し、新しい形で両市の人々を繋ぐことを始められたらと思います。

2021年は、新型コロナウイルスの蔓延が終息し、新しい、より良い生活を送ることができるようになります。2020年の困難な経験を通して、現状や、何かを楽しみにすることに今まで以上に感謝するようになりました。頑張りましょう！

2021年1月1日 ブライアン竹田

## 日本語の教え方講座が開催されました



修了証を受領する受講生。  
右は、講師の森田陽子先生。

在住の外国人に仕事上や生活上で必要な日本語を教える方法を学ぶ本講座、2002（平成14）年に始まって、大変人気があります。今年度は、コロナウイルス感染症対策で、受講生の人数を絞って募集したところ、例年通りの希望者があったため、コースを9月から11月の秋コースと、1月から3月の冬コースの2回に分けて開催しました。コロナ対策に気を遣いながらの講義は色々大変でしたが、受講生は熱心に勉強をしていました。



### 野鳥観察はいかが？

三島の小道、水の苑緑地から下って中郷温水池に流れ込む源兵衛川沿いを歩くのが、私の長年の散歩コースとなっています。桜色に染まった春は言うまでもなく、みずみずしく緑生い茂る夏から赤褐色や深紅に色づく秋、そして寒色をまとう冬へと移り変わる季節を楽しむのです。

ところが最近、散歩の途中であいさつを交わす写真家たちに刺激を受け、完璧なカワセミの写真を撮影しようと静かに水際に座っていた時に、今まで知らなかった全く違う世界の存在に気づきました。実は、静けさの中に音があふれていたということ。



中郷温水池

新しく出会った世界は驚くべきものだった、と言っても過言ではないでしょう。その世界の住人たちはとてもカラフルで、非の打ちどころのないおしゃれさんたち。街じゅうにこだまする声で歌うのが大好きです。そうそう、空も飛べるんですよ？

今まで気づかなかった鳥たちの世界。知ったからにはもう後戻りはできません！

初耳だった皆さんには、水の苑緑地から中郷温水池の川沿いに佇み、鳥の姿と鳴き声に集中してみることをお勧めします。

コサギ (Little Egret)、キアシシギ (Gray-tailed Tattler)、カワウ (Great Cormorant)、オナガガモ (Northern Pintail)、キセキレイ (Gray Wagtail) などいろいろな鳥たちに出会えることでしょう。



散歩の途中で出会う写真家たちとあいさつするのを忘れずに。三島の鳥「空飛ぶ宝石」カワセミ (Common Kingfisher) の観察スポットを教えてもらえるかもしれませんよ。



ぜひ野鳥観察を楽しんでみてください。

## LINE 公式アカウントはじめました

**発信する内容** イベント情報、語学講座等の募集案内、その他協会からのお知らせ 等

**利用方法** 「友だち追加」をして情報収集ツールとしてご活用ください。

① ご利用のスマートフォンにコミュニケーションアプリ「LINE」がインストールされていることをご確認ください。インストールされていない場合は、アプリをインストールしてください。LINEの利用にあたり、個人情報の管理には十分ご注意ください。

② 「三島市国際交流協会LINE公式アカウント」を友だち追加してください。

LINEの画面▶「ホーム」▶「友だち追加」▶「QRコード」で、左のQRコードを読み取ってください。

ご利用にあたっては、右のQRコードから運用ポリシーをご覧ください、同意の上友だち追加してください。



▲友だち追加

アカウント管理・問い合わせ 三島市国際交流協会



▲運用ポリシー

### 麦畑 (編集後記)

- ★コロナ禍で 身動きとれぬ 都市交流・・・ (蛍)
- ★新しい生活様式に慣れた先には新しい世界？期待と不安の2021 (明)
- ★新しい生活様式、変える勇気と進む勇気 (山)
- ★コロナ禍で新たな交流方法を模索。新展開に期待！ (桜)
- ★巣ごもりで運動不足。家飲みでカロリー過多。これじゃ体重増当たり前 (S)
- ★A bird does not sing because it has an answer. It sings because it has a song. (J)

### 申込み・問合せ

- ★ 三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局  
TEL 976-1020 FAX 976-1021
- ★ 三島市国際交流室  
TEL 983-2645  
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ